平成 29 年度事業報告

内閣府によれば、平成 29 年度の日本経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で緩やかな回復基調が続いています。

海外経済の回復に合わせて輸出や生産の持ち直しが続くとともに、個人消費や民間設備投資が持ち直すなど民需が改善し経済の好循環が実現しつつあります。

一方、景気回復が長期化する中で、生産年齢人口（15 歳～64 歳人口）の減少という構造要因を背景に人手不足が深刻化しています。

市工連では、人材確保支援として、これまで高校生の採用を目的とした就職懇談会や、製造業への理解を深めてもらう出前講座などの取組のほか、関東学院大学との連携による大学生向けの就職説明会などにも取り組んできました。また、新入社員合同研修、若手社員フォローアップ研修を実施し、人材育成や離職防止の支援にも取り組みました。

これらに加え、平成 29 年度からは新たに技能資格の習得を支援することで、技術者育成に併せて人材確保の支援にも取り組みました。

また、工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ」の規模拡大などにより、これまで以上に多くの販路拡大の機会を設けるとともに、会員企業の新たな活力を生み出す会員交流事業として会員情報交換会に加え、施設見学会・懇親会の開催、新年賀詞交歓会の参加者の範囲拡大など、会員相互の情報交換の機会を増やしてまいりました。

施設管理の面では、開設から 40 余年が経過した産貿ホールにおいて、施設の安全と使用者の利便性を図るため、神奈川県、横浜市の資金負担により、スプリンクラーヘッド及び排水設備の全面取換工事を行いました。

I ものづくり活性化事業

- 1 基盤整備事業（産業振興に関する課題の掌握、提言、対応策の実施）
 - (1) 市工連委員会の活動（総務、政策、事業・企画、広報・産学、雇用・環境の 5 委員会）

地域工業会代表が意見交換をおこない、課題解決に反映されるよう各委員会を開催しました。

5 委員会の開催延べ回数：8 回
（委員会別開催実績等は V の総会、理事会、委員会等のとおり）
 - (2) 横浜市と当連合会との施策検討会の運営
横浜市の中企業振興策の立案・実施に向け、行政とともに具体的、かつ実効性の高い施策検討協議をおこないました。
 - (3) 産業振興に関する提言、調査、研究
行政機関等の産業振興施策に反映されるよう、前記（2）の施策検討会を活用し、

ものづくりをはじめとした振興施策、企業経営及び立地環境の改善等に関する意見・要望を集約し、林横浜市長に「平成30年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望書」として提出しました。

ア 提出日 平成29年11月8日(水)

イ 場所 市庁舎2F 応接室

ウ 出席者 林横浜市長、林経済局長、榎本市工連会長、各地域工業会会長ほか

エ 要望書概要

(ア) 重点要望事項 3件

- ・ 操業環境の改善と地域活性化の取組み
- ・ 販路拡大等への支援
- ・ ものづくり人材確保の推進

(イ) 局別要望事項 19件

2 ものづくりネットワーク形成促進事業

新事業展開や新製品開発、受発注機会の拡大を支援するため、情報交換会・商談会を開催しました。また、常時、会員企業からの受発注等に関する相談に応えるとともに、情報提供をおこなうなど、市内製造業のネットワークづくりを促進しました。

(1) 受発注相談(電話・FAX・Eメール等による受発注相談)

相談件数：13件

(2) 商談会等の開催

ア 受・発注商談会(川崎開催)

(ア) 日時 平成29年9月27日(水) 10:00~16:55

(イ) 会場 川崎市産業振興会館

(ウ) 主催 (公財)川崎市産業振興財団、川崎市、川崎商工会議所、川崎信用金庫、(一社)横浜市工業会連合会、横浜市(公財)神奈川産業振興センター、

(エ) 参加社数 246社(前年度：312社)

発注：52社うち横浜市内企業16社(前年度：55社・18社)

受注：194社うち横浜市内企業48社(前年度：257社・62社)

(オ) 商談件数 848件(前年度：965件)

(カ) 内容 発注企業の発注案件を事前にホームページで提示して受注企業を募集し、当日のミスマッチによる混乱を避けました。

イ 受・発注商談会(横浜開催)

(ア) 日時 平成30年2月7日(水) 10:00~17:00

(イ) 会場 パシフィコ横浜2F アネックスホール

(ウ) 主催 神奈川県／(公財)神奈川産業振興センター／横浜市／(一社)横浜市工業会連合会／川崎市／(公財)川崎市産業振興財団／横浜信用金庫

(エ) 参加社数 382社(前年度：400社)

発注：87社うち横浜市内企業32社(前年度：76社・27社)

受注：295社うち横浜市内企業81社(前年度：324社・98社)

(オ) 商談件数 1,247件(前年度：1,231件)

(カ) 内 容 発注企業の発注案件を事前にホームページで提示して受注企業を募集し、当日のミスマッチによる混乱を避けました。

(3) 横浜ネットワークプラス（受発注情報システム）の運営

横浜ネットワークプラス（受注・発注マッチングサイト）で、受けた案件を横浜ネットワークプラスに登録・公開するとともに、受注情報や企業検索ができるシステムを運営しています。本サイトをPRするとともに、会員数の拡大やサイト掲載内容の更新等を行いました。

3 第39回工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ2018」

技術力の向上とビジネスチャンスの創出を促進するため、(公財) 神奈川産業振興センター、神奈川県、横浜市との共催により開催している工業技術見本市 テクニカルショウヨコハマは、年々出展者が増加し、会場が狭あいとなったことから、今回、会場面積をこれまでの10,000㎡から13,300㎡の約1.3倍に拡大して開催いたしました。

また、ロボットやIoTソリューションテクノロジーなどの特設ゾーンや、県内の小規模企業を集積した小規模コーナーを新設し、各出展者の優れた技術・製品・システム・研究開発等、分野を問わず幅広くPRしました。

(1) 開催概要

ア 開催期間 平成30年2月7日（水）～2月9日（金）3日間
イ 会 場 パシフィコ横浜展示ホールA・B・C
ウ 出展数 800社・団体（前年度：615社・団体）
エ 小間数 621小間（前年度：466小間）
オ 入場者数 36,056人（前年度：31,002人）

(2) 横浜ものづくりゾーンの開設

横浜市や各区が実施する中小製造業振興のための様々な施策の紹介や、その施策を活用した企業の技術を周知することを目的に、テクニカルショウヨコハマ2018に「横浜ものづくりゾーン」を開設し、地域工業会や横浜青年経営者会が団体として出展しました。

横浜ものづくりゾーン 出展企業 88社（前年度：79社）

（個別応募企業：15社、金沢区工業団体連絡会：8社、横浜青年経営者会：11社、メイドインつづき：33社、港北オープンファクトリー：3社、横浜市補助金交付企業他18社）

4 ものづくり人材育成支援事業

(1) 新入社員合同研修

複数の企業を対象に、座学及び「帆船日本丸」における実践訓練を通し、新入社員の忍耐力や協調性、連帯感などを養い、企業の将来を託せる人材の育成を図りました。

ア 開催日 平成29年4月13日（木）～14日（金）（1泊2日）
イ 会 場 帆船日本丸、同訓練センター等
ウ 参加者 17社 67名（男性47名 女性20名）
（前年度参加者：15社 57名（男性44名 女性13名））

エ 内 容

- ①船上訓練（甲板磨き、登檣、結索）・洋上訓練（漕艇）
指導者：日本丸船長、航海士、乗組員
- ②講義（社会人としての意識を持つ、ビジネスマナー）
グループ討議「学生時代と社会人の違い」「理想の社会人となるために」
講 師：スリーマインド教育センター 阿比留 眞二氏
- ③講義「海に学ぶ（シーマンシップ）」
講 師：日本丸船長 船長 飯田 敏夫氏

(2) 新入社員等若手社員のフォローアップ研修会の開催

昨年度に引き続き、新入社員から入社 5 年目までの若手社員を対象に、入社後を振り返り身についた能力を検証し、不足しているところと今後の課題を見つけ、これからの仕事へのヒントを学ぶ新入社員等若手社員のフォローアップ研修会を開催しました。

- ア 日 時 平成 29 年 11 月 17 日（金） 9 : 30 ~ 17 : 30
- イ 会 場 横浜産貿ホール 小展示室
- ウ 参加者 9 社 14 名（男性 11 名 女性 3 名）
- エ 講 師 スリーマインド教育センター 阿比留 眞二氏
- オ 内 容 ①社会人になった私が自覚すること ~今までの振り返り~
②会社で働くということ
③社会では能力は発揮してこそ、評価される
④報告・連絡・相談こそ、会社コミュニケーションの基本
⑤仕事の仕方とチームワーク
⑥自己啓発・自己宣言

(3) 就職に関する懇談会の開催

神奈川県内の高校生等の地元中小企業への就職を促進するため、県内高校等関係者と企業との就職に関する懇談会をハローワークと共催して開催しました。

- ア 日 時 平成 29 年 6 月 9 日（金） 14 : 00 ~ 18 : 00
- イ 会 場 神奈川中小企業センタービル 14F 多目的ホール
- ウ 参加者 神奈川県立磯子工業高校 等 20 校 29 名（前年度：19 校 25 名）
会員企業等 49 社 63 名（前年度：46 社 60 名）
- エ 成果についてのアンケート
実施日 平成 30 年 1 月
当日欠席した企業を除く 48 社に F A X 送付（1 社 F A X 番号不明）
結 果 回答 37 社、事後接触あり 88 件、うち採用内定予定あり 31 件、
（前年度：事後接触あり 128 件、うち採用予定あり 31 件）

(4) 出前講座の開催

神奈川県立東部総合職業技術校の訓練生に対し、ものづくり産業・中小製造業の果たしている役割や、中小企業が求める人材などについて話す講座を、2 回開催しました。

[第 1 回]

- ア 実施校：神奈川県立東部総合職業技術校

イ 開催日：平成 29 年 5 月 31 日（水）13：00～14：00

ウ 対象者：12 名（チャレンジプロダクトコース）

エ 講師及びテーマ

・株式会社オースズ 代表取締役 鈴木 瑞貴氏

テーマ：「就職に向けて、聞いておきたいお役立ち情報」

・株式会社景泉機器 係長 落合 正浩氏

テーマ：「これから就職をされようとしている方に伝えたい事」

[第 2 回]

ア 実施校：神奈川県立東部総合職業技術校

イ 開催日：平成 29 年 11 月 29 日（水）13：00～14：00

ウ 対象者：46 名（チャレンジプロダクトコース、セレクトプロダクトコース、溶接・板金コース）

エ 講師及びテーマ

・株式会社 エスプラス 代表取締役 加藤 真太郎氏

テーマ：「IT 化の進む中小企業で求められる”人材”とは」

・株式会社 スリーハイ 代表取締役 男澤 誠氏

テーマ：「企業から見た採用したい人材、採用したくない人材」

(5) ものづくり企業紹介フェアの開催

神奈川県内の高校生に対し、第 39 回工業技術見本市 テクニカルショウヨコハマ 2018 の開催に合わせ、中小企業や製造業、自社の様子について、市内製造業経営者や技術者に講演していただいた後、テクニカルショウヨコハマを見学し、中小企業や製造業に対する理解を深めてもらい、進路を決定していく上での参考になるフェアを開催しました。

ア 開催日時：平成 30 年 2 月 8 日（木）9：00～

イ 参加校：神奈川県立商工高校 1 年生 参加者：231 名

ウ 講演者及びテーマ

・講演者 アートワーク株式会社 代表取締役 白須 大吉氏

テーマ「電気は人生と同じ」

・講演者 株式会社オースズ 代表取締役 鈴木 瑞貴氏

テーマ「中小ものづくり企業の今」

(6) 技術者育成支援事業

中小製造業者がその従業員に、技術水準の向上、技能・技術の承継を推進し、中小製造業者における人材確保及び人材育成に資することを目的として、業務上必要な技能検定資格取得のための受検に要する経費を、補助金として交付しました。

補助金交付企業 9 社

(7) ものづくり就労支援

中小ものづくり企業のイメージ向上を図る PR ツールとして、機関誌「よこはま市

工連」を活用し、4月に入社した新入社員や、若手社員が企業で活躍している様子を掲載し、神奈川県内の高校に配布しました。

(8) 横浜市就職サポートセンター事業への協力

横浜市経済局雇用労働課が実施する「横浜市就職サポートセンター事業」に当連合会も協力し、インターンシップ受入れを会員企業に呼びかけ、若年層の雇用に結びつけました。

ア 求人企業数 96社うち市工連会員企業38社

イ 採用決定 70名うち市工連会員企業10社15名(前年度採用実績:10名)

(9) 関東学院大学学内企業説明会

関東学院大学の平成31年3月卒業生に向け、「地元で就職しよう！」をテーマに学内企業説明会を開催するにあたり、市工連会員企業を募集し参加しました。

ア 日時:平成30年3月20日(火) 14:00~16:00

イ 会場:関東学院大学 金沢八景キャンパス

ウ 参加者:関東学院大学3年生 約60名

エ 参加企業:神奈川県内企業48社 うち市工連募集企業13社

(10) 市内中小製造業対象の「人材確保、離職防止及びIoT活用に関するアンケート調査」

中小企業の大きな課題となっている人材不足を解消し、人材の定着を図る手立てを探るとともに、課題解決のための一助となるよう、横浜市経済局と協働で、「人材確保、離職防止及びIoT活用」についてのアンケート調査を実施いたしました。

ア 調査期間 平成30年3月1日(木)~3月23日(金)

イ 対象 市工連役員、新入社員合同研修等事業参加企業、市工連メルマガ会員、横浜企業経営支援財団(IDEC)メルマガ会員

ウ 回答数 70社(うち製造業37社、建設業10社、情報通信8社、運輸2社その他13社)

5 会員企業の交流

会員経営者同士が集まり語り合える機会をつくるために、情報交換会や施設見学会・懇親会を開催しました。

(1) 会員情報交換会

ア 開催日 平成29年7月20日(木) 18:00~19:30

イ 会場 ホテル横浜ガーデン

ウ 参加者 85名

エ 報告 ヨコハマメーカーズヴィレッジ

「ミラノデザインウィーク2017」出展報告

横浜青年経営者会 理事 藤澤 秀行氏

(2) 水道施設見学会・懇親会

ア 日時 平成29年9月22日(金) 14:30~

イ 会場 水道記念館及び西谷浄水場

ウ 参加者 市工連役員・委員等 14名(市工連事務局3名含む)

エ 内 容 水道記念館見学（水道事業概要説明と展示見学）、浄水場施設見学

(3) 横浜港見学会・懇親会

- ア 開催日 平成 29 年 12 月 13 日（水） 14：00～
- イ 内 容 横浜港の概要説明（産業貿易センター3Fにて）
港湾施設見学（マリーンシャトルに乗船）
- エ 参加者 市工連役員・委員等 16 名(市工連事務局 3 名含む)

6 情報発信事業

(1) インターネットを活用した情報提供

- ア ホームページの運営
タイムリーに会員のための情報提供に努めました。
- イ メールマガジン「市工連ニュース」の配信
平成 29 年 4 月 4 日 第 375 号から
平成 30 年 3 月 15 日 第 397 号まで 23 回配信
配信先 工業会会員等約 1,430 件

(2) 機関誌等の発行

- ア 機関誌「よこはま市工連」の発行
年間 2 回発行
平成 29 年 7 月（76 号） 2,400 部
平成 30 年 1 月（77 号） 2,400 部
- イ 広報紙「市工連かわらばん」の発行
年間 6 回発行 各回 2,600 部配布
平成 29 年 5 月（156 号）から 29 年 3 月（169 号）まで奇数月発行

(3) 一斉ファックス・メールマガジンでの情報発信

全会員へのお知らせや周知のために、一斉 F A X やメールマガジンのツールを利用し情報の発信に努めました。

II 産業振興施設の管理運営

1 横浜産貿ホールの管理・運営事業

産貿ホール開設から 40 余年が過ぎ不備が目立ってきたため、使用者の利便性と安全を図るため、神奈川県、横浜市の協力のもと、スプリンクラーと、排水管の全面取換工事を行いました。引き続き計画的に修繕を行って、利用しやすい施設を目指してまいります。

2 鳥浜・試作型貸スペース（T3）事業

前年度に引き続き 3 事業所 5 室の満室を維持し、安定運営ができました。

Ⅲ 相互扶助事業

市工連を構成する 10 の地域工業会・事業会と横浜青年経営者会に対し活動助成を行い、支援に力を入れました。また、「災害共済」、「労災保険」等会員企業や従事者を対象とした各種福利厚生事業を行いました。さらに、製造物責任法による企業の賠償責任に対応するため、本会独自の PL 保険の加入促進を図りました。

なお、平成 7 年 4 月に設立され、従業員の福利厚生に役立っていた「横浜市工業厚生年金基金」は、平成 29 年 2 月 27 日に厚生労働大臣あて解散認可申請を行い、平成 29 年 5 月 25 日付で、厚生労働大臣より解散認可を受けその使命を終えました。

今後は清算法人として概ね 2 年余の期間において、加入員等の記録と国が保有する厚生年金保険の被保険者記録が完全に一致するまで整備を行うとともに、加入員、年金受給者、受給待機者への分配金支給等の清算業務を行ってまいります。

1 地域工業会・事業会の活動支援

前年度と同様に 10 の地域工業会・事業会に対し、広報活動助成と活動支援助成（特例分）として、11 万円の助成を行いました。

2 横浜青年経営者会の活動支援

横浜青年経営者会の活動支援を行いました。

3 すぐれたアイデア提案者表彰

各企業において、技術開発、生産性の向上、経費節減等で「すぐれたアイデア」を提案し、企業の発展に貢献した従業員を市工連賀詞交歓会の席上で表彰しました。

ア 表彰日 平成 30 年 1 月 10 日（水）

イ 会場 ホテル横浜ガーデン

ウ 被表彰者 5 社 6 名

Ⅳ 法人運営

総会、理事会の開催など団体運営に努めました。

Ⅴ 総会、理事会、委員会等

1 総会

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
6 月 22 日 (木)	定時総会	・平成 28 度事業報告について ・平成 28 年度決算報告について ・理事・監事の選任について ・その他の報告	ホテル横浜ガーデン
30 年 3 月 28 日 (水)	定時総会	・平成 30 年度事業計画（案）について ・平成 30 年度予算（案）について ・規程等の改正について ・その他	産業貿易センター 801 会議室

2 理事会, 会長会議, 各委員会等

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
5月9日 (火)	広報・産学委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・よこはま市工連第76号発刊計画について ・よこはま市工連第76号掲載内容について ・メルマガ「市工連ニュース」について ・WEBサイトについて ・かわら版の発行について ・その他 	横浜産貿ホール 小展示室
5月18日 (木)	政策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度横浜市に対する予算要望の回答について ・平成30年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望書の策定スケジュールについて ・その他 	横浜産貿ホール 小展示室
6月5日 (月)	総務委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度定時総会・第1回理事会について ・平成28年度事業報告について ・平成28年度決算について ・理事の選任について ・専務理事の選定について ・その他報告 	横浜産貿ホール 小展示室
6月14日 (水)	事業企画委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・29年度会員情報交換会企画について ・水道施設見学会及び懇親会について ・すぐれたアイデア提案者の推薦について ・ものづくり商談会について ・テクニカルショウヨコハマ2018開催について ・その他 	シルクセンターB1 中会議室
6月22日 (木)	第1回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度事業報告について ・平成28年度決算報告について ・専務理事の選定について ・平成29年度委員会の委員について ・その他の報告 	ホテル横浜ガーデン
7月26日 (水) ~ 9月13日 (水)	施策検討会	<p>横浜市課長職以下7人地域工業会推薦19人 政策委員3人、IDEC2人 延べ3回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・操業環境・容積率・緑化率 ・金沢臨海部産業活性化 ・販路拡大に対する支援 ・人材確保・育成 ・支援制度等 ・道路整備 	メディアビジネス センター 大会議室
8月31日 (火)	雇用・環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・技術者育成支援事業について ・「新入社員等若手社員のフォローアップ研修」について ・横浜市就職サポートセンター事業について (次ページへ) 	横浜産貿ホール 小展示室

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
8月31日 (火)	雇用・環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> ものづくり人材育成支援事業 ～市工連の取り組みについて～ 多彩な人材の確保・活躍の支援 ～横浜市の取り組み その他 	横浜産貿ホール 小展示室
10月12日 (金)	政策委員会	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度施策検討会報告 施策検討会の開催状況について 等 平成30年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望について その他 	横浜産貿ホール 小展示室
11月10日 (金)	広報・産学委員会	<ul style="list-style-type: none"> よこはま市工連第77号発刊計画について よこはま市工連第77号掲載内容について メルマガ「市工連ニュース」について Webサイトについて 「かわら版」の発行 その他 	横浜産貿ホール 小展示室
3月16日 (金)	総務委員会	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度事業計画(案)について 平成30年度予算(案)について 規程等の改正について その他 	横浜産貿ホール 小展示室
3月28日 (木)	第2回理事会	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度事業計画(案)について 平成30年度予算(案)について 規程等の改正について その他 	産業貿易センター 801会議室

3 新年賀詞交歓会

今年度から、広く情報交換ができるよう、地域工業会会員企業に参加の呼びかけを行いました。

日 時 平成30年1月10日(水) 16:00～18:00
 会 場 ホテル横浜ガーデン
 参加者数 138名

4 地域工業会・事業会 事務局長会議

事務局長会議を次の通り開催し、市工連と地域工業会との情報交換・連携を図りました。

〈29年〉4月19日、5月17日、6月21日、7月19日、9月20日、10月18日、
 11月15日、12月21日、〈30年〉2月21日、3月22日